

まちの名所・旧跡



健やかに赤ちゃんを育てるための信仰場所

ぎゅうにゅうやま ちち いしどう そ じん

牛乳山乳石道祖神 (乳石神社の乳石)

石背国^{いわせのくに}国造四世は、応神天皇（西暦260年）の時代から仁徳天皇（西暦300年）まで44年間、建与曾の命令で、この岩瀬地方を治めていた方ですが、その霊が深内町地区にある御霊神社（通称牛乳山と言われている）に祀られています。

この方は、農民より先に牛を飼育し、宮中に、チーズを献上したと言われています。

この御霊神社の境内には、高さ1m余、幅1m程の巨大な石（乳石道祖神）がありますが、乳の出ない産婦がこの石を拝むと、不思議に乳がたくさん出るようになったということです。

昭和の初め頃までは、周辺の住民はもとより、遠くからも、たくさんの方々が参拝客が訪れていたそうです。

この神社から前を見わたすと、一面の田園があり、その中に、史跡の鏡沼がたたずんでいます。

